

◆ 2019 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 一二三富の会

22A-14

代表者：代表理事 浜端英男

URL : <http://hifumitominokai.wix.com/hifumitominokai>

1. 活動が必要とされた状況

「につきい堀込の森」は、坂戸市西部に位置する 0.68ha の平地林であり H26 年に整備を開始し H30 年に坂戸市より「市民緑地」の認定を受けた。前年に発生した台風被害の修復と対策、広葉樹・花木の植樹による緑環境整備、憩いの場としての施設整備等の継続が必要である。今年度は自然と共生したまちづくりを推進・啓蒙のため講演会を計画した。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ① 活動日数：整備活動は 2019 年 4 月 12 日～2020 年 2 月 19 日までに合計で 27 日回実施した。
- ② 参加員数：整備活動に参加した延員数は 231 人で 1 回当たりの平均参加者は 8.6 人であった。
- ③ 主な整備活動内容
 - ・ 4～5 月は、前年度作業を引き継いで台風被災の倒木処理を主体にした樹林整備作業を継続して行い、加えて拡張区域の植樹を含む整備作業を実施した。
 - ・ 6 月以降は年度末まで、下草刈り、不要樹木の伐採処理、伐採材のチップ化、敷きならし、倒木対策としての支柱設置などの整備作業を継続的に行い、加えて伐採用材を活用した休憩所施設整備作業も行った。
 - ・ 植樹の実績：4 月にコナラ、クヌギ、シラカシ、ヤマツツジ、オモミジ、アカシデ、ヤブツバキ等 15 本、11 月にミツバツツジ 3 本を追加植樹した。
- ④ 森のプレーパーク開催：10 月 26 日子供たちを対象に森のプレーパークを開催、保護者を含め 100 名超の参加者があった。
- ⑤ 記念講演会の開催：11 月 30 日、当 NPO 設立 5 周年記念事業として、財団の後援も得て「未来につなげるまちづくり」をテーマにした講演会を開催した。講師にエコミスト 藻谷浩介氏（里山資本主義の著者）を招聘し、参加者数は 170 名であった。



修復整備を完了した森の風景



森のプレーパークに参加した子供達



藻谷浩介氏講演会風景

3. 活動の成果

- ① 前年の台風被災の修復を完了し、6 月に「市民緑地」として供用を再開するとともに、継続的な環境整備により快適な緑地提供が実現しつつあることは大きな成果である。
- ② 藻谷浩介氏を迎えた記念講演会は、自然との共生におけるまちづくり意識を大いに啓蒙するものであり聴衆の共感を得て好評であった。

今後に残された課題

- ① 周辺地域住民の緑地活用の認識向上と合わせ住民参加による緑地管理体制の形成。
- ② より快適な緑地環境創出のための植樹および施設整備の継続実施。
- ③ 台風などに対する倒木防止対策工（支柱等）の施工による安全性の確保。